

## 君の意志の向いているところ

2 学期中間考査の結果がまとまった。各科目の平均点はかなり低い。問題が難しかったのだろうか。そうではあるまい。

9 月に行われた第 2 回スタディサポートの結果を入学時に実施した第 1 回のもの比べてみると、すべてのコースで学校としての平均点偏差値は少し上がった。しかし、家庭での平均学習時間は少なくなっている。普通コースで実施したパワーワードビルド 3 回目の確認テストでも平均点は大きくダウンし、70 点以上の合格者も非常に少なくなってきた。

平均点は、みんなが勉強しなければ当然下がる。しかし、そのような中では、自分の校内偏差値はさほど勉強しなくても下がらない。多くの者が勉強を怠けていれば、その集団の中での位置は変わらないからだ。しかし、2 年後の大学受験時や就職試験時に、多くが切磋琢磨しあってライバル争いをしながら自らを高めてきた他の集団と並んだ時、もう勝負はついている。その時自分の過去を悔やんでももう取り返しがつかない。クラス順位、校内順位だけで上がった下がったと一喜一憂していることの不気味さはそこにある。

朝読書、パワーワードビルド、考査前の準備等、より高いものを目指そうという空気が君の周りにはあるだろうか。君のクラス、君の仲間は、集団として前を向いて進んでいるだろうか。もし、そうでないとしても、君は 2 年後、そしてその先の未来に向けて、自らを高めようとしているだろうか。

何十年たっても時々思い出すシーンがある。

僕が通っていた海沿いの中学校では秋になるとロードレース大会があった。1 年、2 年とトップ 10 に入れず悔しい思いをしていたので、僕は最後の 3 年時こそ、優勝争いをしたいと意気込んでレースに臨んだ。春に新潟島トライウォークで歩いた、あの海沿いのアップダウンを走る、かなり厳しいコースで、今までは最初から飛ばしすぎて後半順位を下げていたので、今回は前半抑えて後半勝負しようと考えた。

スタート。予定通り、陸上部やバスケ部の優勝候補が先陣を切る。僕はついていかずに、第 2 グループあたりで走った。するとそこにはいつも一緒にいるクラスの仲間がいた。そして、なんとなくそいつと走るようになった。しばらく走った後、日和山展望台のあたり、前がずうっと上りになっていて、先頭集団が見通せるところで、僕らはトップからかなり離されていることに気付いた。これ以上離されたらまずいと思ったのと、走っている身体のテンポがよかったので、僕はスピードのギアを一段あげた。仲間とすーっと距離ができた。その時、仲間の声が背中から聞こえた。

「おい、まだいいって！ 焦んなよ。」

僕はわかっていた。そうじゃない。これ以上離されたら絶対追いつけない。身体は苦しくない。今が上がっていくチャンスだ。行け！

けれど、実際の僕はそうしなかった。ギアを一段戻し、ペースを緩めた。

そして惨敗した。これ以上ないというくらい、最悪の気持ちでゴールした。

どうだろう。

今、君は仲間とともに流されて下へ下へ向かっていないか。

君は、本当は、そうすべきじゃないとわかっているのではないか。

君の意志は、明らかに、今までと別の方向へ踏み出そうとしているのではないか。

悔いのない、今を生きてほしい。

# ◎セカンドホーム訪問

## 書道部

- ①部員数 1年3名 2年0名
- ②目標 書の甲子園 部員全員入賞
- ③活動内容およびPR

普段は、書の甲子園などに出す作品を練習しています。一つの作品を2～3カ月かけて仕上げます。他にも、昨年度佐渡に招待され、鬼太鼓のリズムに合わせてパフォーマンスを披露し、その様子がテレビで放送されました。最近では、万代太鼓の講演でバックステージを飾る作品を書かせていただきました。パフォーマンスをするのは初めてで、3人で1つの作品を書くので、1画目を書き出す位置や文字の大きさをそろえるのが大変でした。

- ④がんばっている人

がんばっている人は清田優さんです。北越塾もあり、時間のなかで今までに書いたことのない字や、大きな字に挑戦していました。いつも明るく元気で書道部を盛り上げてくれます。

## 家庭部

- ①部員数 1年27名 2年6名
- ②目標 「お料理上手な高校生」を目指します
- ③活動内容およびPR

毎回、様々なジャンルの料理を作っています。様々な料理を作り、その場に応じた手法などを身につけていくことで、料理の上達へ近づけようというのが主な活動です。調理師専門学校にお邪魔させていただき、料理の基本や高度な技術を教えていただいたりしました。

- ④がんばっている人

1-11のSさんは、グループの中でも中心になってすばやく行動をしています。材料を素早くそろえ、レシピ通りにいかななくても、自分の知識とセンスを使って料理を完成させていました。

## ☆ 読書の秋（第4弾）

### 森口昭一 先生（7組担任）

- 朝読書で読んだ本 『うたかた／サンクチュアリ』 吉本ばなな／（株）新潮社  
私と一緒に日本大学芸術学部文芸学科を受けた作家なので読んでいます。「うたかた」はソフトな恋愛を描きながら、「人」とはどういう存在か、「家族」とは何かを描いています。
- おススメの本 『2つの違い、まだ知らないの？』 違いがわかる大集団 編／廣済堂出版  
似たモノの簡単見分け方が紹介されています。雑学を身につける感覚で、正しい知識を身につけていこう！

### 高殿幸則 先生（8組担任）

- 朝読書で読んだ本 『ハーバード白熱教室講義録』 マイケル・サンデル / 早川書房  
正義についてつき詰められると、この年になっても迷ってしまう。哲学の考え方の基本、正義の考え方の基本を示唆してくれる。
- おススメの本 『ミッキーマウスの憂鬱』 松岡圭祐, 『14歳の君へ』 池田晶子／新潮文庫  
ディズニーの裏方で働くようになった未熟な主人公が、様々な出来事を通じて、周囲を思いやること、仕事への誇り、責任感に目覚めていく。